

10月になり、風が涼しく気持ちよい季節になりました。ところで、日本には漁師や農家の人などがつけた2千種類以上の風の名前があるのをご存知ですか？四季折々に吹く風の名前ばかりでなく、吹き方によって名前もさまざま。今回は風情たっぷりの秋に吹く風をご紹介します。

まず、今の季節にぴったりな「金風（きんぷう）」です。これは秋風のことで、黄金色の稲穂を揺らすことに由来します。雁が渡ってくる9月から10月に吹く北風は「雁渡し（かりわたし）」。秋の爽やかさが感じられますね。「六甲おろし」などで知られている「おろし」は、もう少し秋が深まってから吹き始める、冬山から吹き降ろす冷たい強風です。想像するだけで寒くなります。また、もの寂しく、秋の詩情や情緒を感じさせる風のことを「秋の声」というそうです。

さて、木枯らしがピューッと吹いた瞬間、風が歯に当たってしみた、なんてことはありませんか？知覚過敏やむし歯かもしれません。定期的に検診を受けに来て下さいね。

稲垣歯科からのお知らせ



定期検診を受けましょう



稲垣歯科

電話 0568-78-2525

住所 小牧市高根2丁目324

診療科目 インプラント、即日オールセラミック、床矯正、審美歯科
磁性アタッチメント、歯科CT撮影診断、お口のメンテナンスなど

診察時間	月	火	水	木	金	土
午前	9:30 ~12:30	9:30 ~12:30	9:30 ~12:30	休診	9:30 ~12:30	9:30 ~12:30
午後	14:00 ~19:00	14:00 ~19:00	14:00 ~19:00	休診	14:00 ~19:00	14:00 ~17:30
休診日：日曜・祝日・木曜日						

フッ素ってなんだ？



お店で売っている歯磨き粉やマウスウォッシュの成分表をみると、必ずと言ってよいほどフッ素が含まれています。フッ素とは身の回りにあるほとんどの物に含まれている元素のひとつで、歯や骨をつくるために大切な役割を果たすほか、虫歯予防にも大きな効果があります。

★どんな働きをするの？

1. 虫歯菌の働きを抑制する

虫歯菌の酵素の働きを抑制し、歯を溶かす酸を作らないようにします。虫歯菌の栄養となる糖の取り込みのじゃまをして、菌が歯にくっつくためのネバネバを作らせないようにします。

2. 歯質を強化する

歯の表面のエナメル質をかたく丈夫にします。

歯のエナメル質結晶の弱い箇所を修復して、より強固な結晶を作ります。

★どんな効果があるの？

■妊婦さんに

赤ちゃんのお口のなかには、もともと虫歯の原因になるミュータンス菌は存在しません。ごはんを食べる際の「ふーふー」や口移しなどで、お母さんの菌が赤ちゃんのお口へ移るのです。妊娠中から、キシリトールガムやフッ素などで虫歯菌を減らしておくことが大切です。

おすすめ→PMTC（歯医者での歯面清掃）・キシリトールガム・フッ素入り歯磨き粉

■お子様に

乳歯や生えたての永久歯は、まだ柔らかくて弱い為、とても虫歯になりやすい状態にあります。フッ素を継続して塗ることで、歯の質を強化し、むし歯に強い歯を育てることができます。

おすすめ→歯医者でのフッ素塗布・フッ素入り歯磨き粉・キシリトールガム

■大人に

30代以降は、歯周病が進行したり、歯ぎしりによって歯が削れ、知覚過敏になりやすくなったり、様々な症状が出てきます。また、歯と歯の隙間が広がり、そこから虫歯が出来てしまうリスクも高くなります。これらにもフッ素が有効です

おすすめ→PMTC・フッ素入り歯磨き粉・キシリトールガム

■お年寄りに

歯周病と共に、歯ぐきの退縮もみられるようになり、歯根のセメント質が露出しやすくなります。エナメル質に比べてとても虫歯になりやすい箇所なので、フッ素で歯質強化を目指しましょう。

おすすめ→PMTC・歯医者でのフッ素塗布・フッ素入り歯磨き粉



稲垣歯科

